

21 感染対策指導プログラムの作成と実践

諏訪赤十字病院血液浄化センター

小山真美 丸茂しげみ 五十嵐美都子

I はじめに

諏訪赤十字病院血液浄化センター（以下当センター）の感染対策の現状を振り返り平成21年11月感染対策指導プログラムを作成した。そして、今年度実施に至ったので報告する。

II 経過

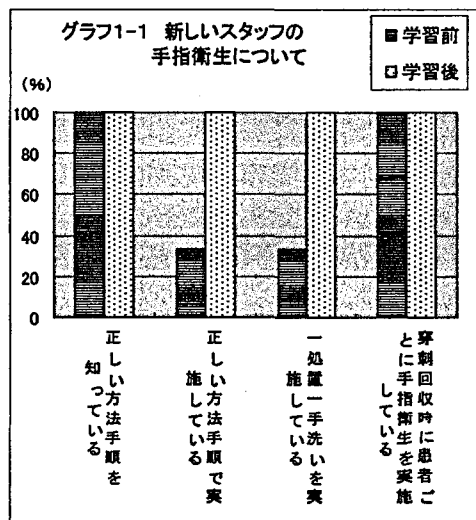
<感染対策指導プログラムの作成の経過>

当センターの感染対策における問題点

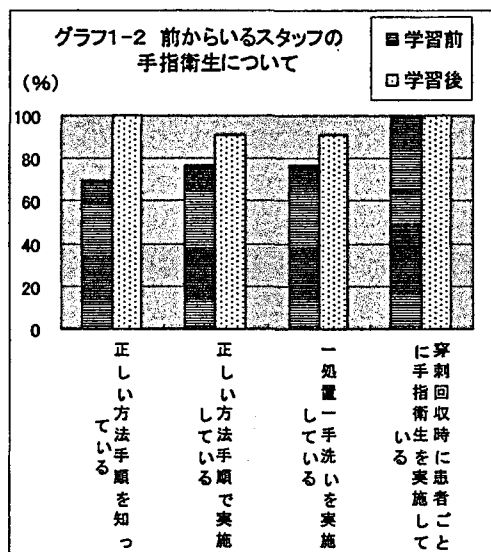
- ・新採用者指導項目に感染対策のオリエンテーションがない。
- ・感染対策を指導する内容・方法が明文化されていない。
- ・定期的に感染対策の学習会が実施されていない。
- ・適切に感染対策を実施しているか確認できていない。

これらの問題点から、看護師に感染対策の知識・実施のアンケートをとり、その結果から学習会を実施した。その後、再度アンケートをとり、改善内容を確認し学習会の必要性および継続性を実感して感染対策指導プログラムの作成に至った。

異動してきた看護師の手指衛生の知識、実施状況の学習会前後のアンケート結果



以前からいる看護師の手指衛生の知識、実施状況の学習会前後のアンケート結果

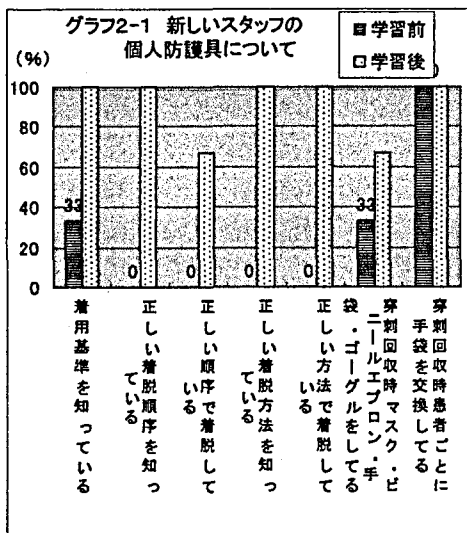


小山 真美 諏訪赤十字病院血液浄化センター〒392-8150

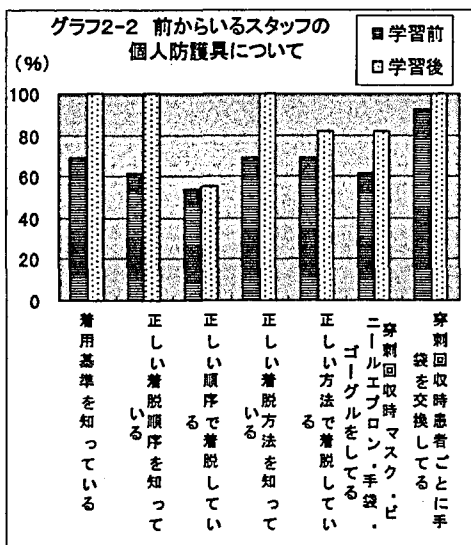
諏訪市湖岸通り5-11-50 Tel 0266-52-6111

いずれの看護師も学習会前は穿刺回収時に手指衛生ができていないのに他の処置時にはできていない看護師がいる。学習会後は他の手指衛生ができるようになった。

異動してきた看護師の個人防護具の知識、実施状況の学習会前後のアンケート結果



以前からいる看護師の個人防護具の知識、実施状況の学習会前後のアンケート結果



手指衛生同様学習会後は防護具の知識は向上し実施できる看護師が増えた。

アンケート結果より看護師全員が正しい知識、技術をもち確実な実施ができて継続していくためには単に手順だけではなく、その必要性や根拠を各自が理解することが重要であることがわかった。

学習会の方法

手指衛生と防護具の資料の読み合わせをする。異動してきた看護師がデモンストレーションをした後皆で実際に着脱練習をした。学習会は2回行い参加できなかった看護師には資料を配布した。

学習会の後、意見感想をとると

- ・手袋は置いてある場所が限られているので出血などの突発的な対処時にすぐに使用できない。
- ・いつもやっていることが正しいと思っていたが間違っていたので気付けてよかった。
- ・あらためてやると新鮮な気持ちになる。などが出た。

学習会の効果として

- ・リーダーで教える立場になるとより身につく。
- ・自分の行為を見直す機会になる。
- ・新たな問題点が発見される。

などがあつた。

以上の経過から感染対策指導プログラムを作成した。

感染指導プログラム

目的

当血液センターにおける感染対策の具体的な実践項目を理解し、適切な場面で正しく実践するために行う。

1. 新採用及び異動になってきたスタッフ

時期：採用および異動の1週間以内

内容：「血液浄化センター感染対策マニュアル」を使用して当センターの感染対策を指導

2. 現スタッフ

時期:年間2回(5月と11月ごろ)

内容:学習会として

・当センターの感染対策の振り返り、新しい情報の提供

・手指衛生・防護具着用などの状況チェック

<感染対策指導プログラムの実施>

6月に当院の新人指導で使用された資料を使いスタンダードプリコーションの学習会を実施した。この学習会の振り返りで防護具の脱ぎ方・捨て方が適正でないことがあった。それを受けて8月に防護具の脱ぎ方・捨て方の学習会を実施した。

写真(学習会前のごみ箱)

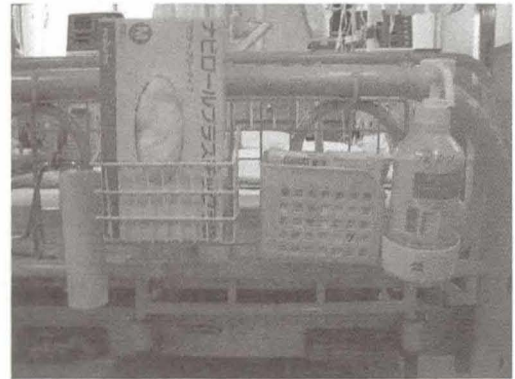


学習会前のプラスチックエプロンと手袋の捨て方は脱ぎっぱなしで広がってゴミ箱にあふれていた。
写真(学習会後のごみ箱)



学習会後は小さくまとめて捨てるようになりゴミ箱はすっきりし、細菌の飛散防止および医療廃棄物の削減につながったと思われる。また、脱ぎっぱなしで捨てる看護師に「捨て方が違うよ」と声をかける看護師の姿を見かけるようになり、感染対策を実施しようとする気持ちが高まったと思われる。

写真(各ベッドに設置された物品)



昨年のアンケートから出た「手袋は置いてある場所が限られていて使いたい時にすぐに使用できない」という意見については、各ベッドに手袋・速乾性手指消毒液、アルコール綿を設置し、すぐに使用できるようになり動線が短縮された。

III 今後の課題

血液の付いた感染ゴミが一般ゴミに混じって捨ててあることからゴミの分別を確実に効率的、安全に行う。また、当院の感染制御室のラウンドで指摘された内容を検討し改善していく。

IV 結語

感染対策指導プログラムを作成し、今年度実施したことは一定の成果を得ることができた。

参考文献

- ・パトリシアAクラントン：おとなの学びを拓く
鳳書房、1999
- ・藤田昌久：院内感染防止ガイド、
学習研究社、2006